

さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）

中間見直しに係る岩槻区検討懇話会

会議録

日時	令和6年7月24日（水） 10時00分～11時30分
場所	岩槻区役所（ワッツ東館） 4階第1会議室
出席者 （敬称略）	<p>【委員】計15名 雨宮 道夫／荒木 ゆかり／大澤 佑介／折原 良二／ 光山 修司／小宮 康一郎（職務代理者）／田口 ゆり子／ 田中 克幸／田中 泰治／伴戸 武三／深井 義司／ 牧内 香里／丸川 里子／三次 宣夫（座長）／渡部 芳亮</p> <p>【事務局】計12名 岩槻区役所 小島区長／寺村副区長（司会）／白石区民生活部長／ 浜崎健康福祉部長／七里総務課長 都市戦略本部 都市経営戦略部 田中参与／丸山主査 市民局 区政推進部 小島参事／加治主査</p> <p>【傍聴者】0名</p>
欠席者	〔委員〕計1名（小宮 彰）
議題	1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 4 座長及び職務代理者の選出 5 岩槻区の特性と将来像について 6 閉会
公開又は非公開の別	公開
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次 ・ 岩槻区の将来像の推進に係る懇話会設置要綱 ・ 岩槻区の将来像の推進に係る懇話会傍聴要領 ・ 岩槻区検討懇話会資料1 ・ 岩槻区検討懇話会資料2
問合せ先	岩槻区役所 区民生活部 総務課 電話 048-790-0115

1 開会

○**司会** 定刻になりましたので、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る岩槻区検討懇話会」を開会させていただきます。

私は、岩槻区役所副区長の寺村と申します。

座長が決まるまでの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、委嘱状につきましては、本来、市長よりお渡しをするところですが、時間の都合上、机上配布とさせていただきますので、御了承願います。

2 挨拶

○**司会** それでは、懇話会の開催に当たりまして、岩槻区長小島より、御挨拶を申し上げます。

○**小島区長** 皆様、おはようございます。岩槻区長の小島でございます。

本日は、御多忙のところ、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る岩槻区検討懇話会」に御出席いただき、誠にありがとうございます。

御案内の「区の特性と将来像」は、さいたま市の市政運営の最も根本となる計画「さいたま市総合振興計画」の基本計画に定めているものでございまして、岩槻区における、地域の特性を生かし、区民に身近なまちづくりを進めるための大きな方向性を示しております。

区役所におきましては、この将来像に基づき、毎年度、区の運営方針及び区のまちづくりを策定し、様々な機会でご市民の皆様と将来像の共有を図りながら、「区まちづくり推進事業」の充実を図るとともに、本庁各所管に必要な事業の実施を要請し、将来像の実現に向けた取組を推進してきたところでございます。

本日、岩槻区におきまして、御活躍の皆様から、現在の岩槻区についての御感想をいただき、引き続き、将来像の実現に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

本日は、岩槻区の更なる発展のために、地域の実情を熟知されている御立場から、是非、忌たんのない御意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

3 出席者紹介

○**司会** 次に、本日お集まりいただいた皆様から、所属団体、お名前などを自己紹介いただければと存じます。

それでは、雨宮様から席順にお願いいたします。

○**雨宮委員** 岩槻区のスポーツ振興会の雨宮と申します。よろしくお願い申し上げます。活動としては、毎年1回、10月に岩槻やまぶきまつりを中心に活動しております。構成メンバーは約23名で10の地区から選抜されて活動しております。去年の10月20日、岩槻やまぶきまつりを文化会館で開催したが、子どもさんを中心に、ブランドゴルフ、輪投げとか、その他もろもろ4つぐらいの種目をやりまして、約350名、参加させていただいた。それは市と区の協賛。その他、東岩槻小学校で、親子ふれあいスポーツフェスティバルをスポーツ振興会の主催でやりました。約250名の参加を得ました。参加者がかなり増えているので、これから活動の中心に、また新しい種目を取り入れてこれから活動していきたいです。

○**荒木委員** 美術家協会の会長をしております荒木です。岩槻区民展を中心に集まって、メンバーの代表として人前で話したことがないので、お恥ずかしいですが、第4回の区民展を2月に開くことがやっとできましたので、その際には皆さんご協力していただければと思います。今資料などを作成していますが、岩槻市が岩槻区になって、それまで岩槻市展であったのがさいたま市展になってしまって、それ以来岩槻区の美術家の人たちは出品するところがなくて、底辺が育たないという感じで苦勞しております。何かそういうことを反映させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○**大澤委員** 公益社団法人埼玉中央青年会議所から参りました大澤と申します。我々の団体は、さいたま市、上尾市、伊奈町のエリアで20歳から40歳までの経営のメンバーで活動しております。本日は初めての出席ですが、いろいろ地域の未来のことを考えながら皆様と発展したさいたま市岩槻区としていければと思っておりますので本日はよろしくお願いいたします。

○**折原委員** 民生委員・児童委員協議会の折原と申します。岩槻は、協議会が7つございまして、私は1番目の第一民児協の所属にしております。よろしくお願い致します。

○**光山委員** 農業団体連合会会長の光山と申します。岩槻の農家の皆さんのいろんな組合がありまして、それをまとめている会でございます。各組合に雑穀や米、小松菜、そういうものの組合がまとまった団体で、そういう方面からの意見を求められてきていると思いますので、よろしくお願い致します。

○**小宮委員** さいたま商工会議所岩槻支部から参りました小宮と申します。岩槻の商工業と観光は、まちづくりと一体で進めていかなくてはいけないということで、日々研究やヒアリングなども含めて、どのように進めていこうと考えております。地下鉄7号線延伸も非常にまちづくりにとって必要なファクターになっております。新駅も含めてどのように岩槻区のまちづくりを進めていくかということも少しお話できればと考えております。本日は

どうぞよろしくお願いいたします。

○**田口委員** 岩槻蓮田地区更生保護女性会の田口と申します。私達は法務省の保護観察所の中の保護司会の福祉の皆さんと協力しながら事業を進めていくボランティアの団体です。久しぶりに今年7月2日に、社会を明るくする運動ということで、東岩槻駅前でチラシを配りながら、社会を明るくして犯罪をなくしていきましょうというような呼びかけをいたしました。地元の活動としては、岩槻やまぶき祭りにも毎回出席いたしまして、それから各地域の小中学校に本を送りながら、暮らしやすい地域づくりに力を入れております。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

○**田中克幸委員** さいたま市社会福祉協議会の岩槻区事務所長の田中と申します。社会福祉協議会岩槻区では、8つの地区で、地区社協が設置され、いろいろな地域福祉活動が実施されております。この中にも地区社協の委員役員さんになっていただいている方も拝見しますがよろしくお願いいたします。

○**田中泰治委員** 岩槻商店会連合会の田中と申します。よろしくお願いいたします。

○**伴戸委員** 岩槻人形共同組合の伴戸と申します。現在組合員53名です。地域に関する行事といたしまして、流し雛、それから岩槻まつり、それから共催等を行っております。よろしくお願いいたします。

○**深井委員** さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校校友会協議会の代表の深井と申します。活動として、60歳以上の高齢者の学習や地域活動等、仲間と一緒に勉強しようということを日々やっています。今、4月に20期生が入り、私は8期生で、もう12年やっています。岩槻区の行事やイベントでは、鷹狩り行列などへの参加、あるいは10月の1日2日、赤い羽共同募金に、少しでも協力しようと、皆さんと何か協力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○**牧内委員** 岩槻区PTA連合会の川通中学校のPTA会長をしております牧内と申します。よろしくお願いいたします。

○**丸川委員** 青少年育成連絡会から来ました丸川と申します。よろしくお願いいたします。青少年育成会は岩槻区には8地区ありまして、その中の会長と事務局長が集まった会で、今回は私の方が来させていただきました。小学校、中学校でいろんなイベントをしたりすることが多いです。民生委員の主任という立場で育成会の事務局長に入りまして、その関係で毎年新1年生の数についてチラシを配り、調べていますが、毎年30人40人とどんどん減っ

ている。単学級の小学校がどんどん増えている。どうしたらお子様がいっぱいいるまちづくりができるかという観点から考えていけたらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

○三次委員 区内 140 自治会長さんから組織しております岩槻区自治会連合会会長を仰せつかっております三次と申します。よろしくお願いいたします。

○渡部委員 さいたま市交通安全保護者会の岩槻副支部長をしております渡部と申します。よろしくお願いいたします。交通安全ということで、春と秋に駅前で皆さんに交通安全のための資料を配布することや、声掛けさせていただいて交通安全に対して皆さんに意識を持っていただくということを活動させていただいております。あと小学校などでも P T A 活動にも参加させていただいております。

○司会 ありがとうございます。
続きまして、職員の自己紹介をさせていただきます。

○小島区長 改めまして、岩槻区役所区長の小島でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○白石部長 区民生活部長の白石でございます。本日は忌たんのない御意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○浜崎部長 健康福祉部長の浜崎でございます。よろしくお願いいたします。

○田中参与 都市経営戦略部参与の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○小島参事 区政推進部の小島と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○七里課長 総務課長の七里と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○寺村副区長 改めまして、副区長の寺村でございます。

○司会 なお、その他スタッフとして、市職員及び、会議録作成のため、業務委託の受託事業者が入室しておりますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。

次に、本日の資料ですが、机上に配布させていただきました資料と事前に配布させていただきました資料となります。次第に記載してございます資料で不足がある場合にはお声掛

けください。

○**司会** それでは、本日の会議について説明をさせていただきます。

本日の会議は、会議録作成のための録音及び記録のための写真撮影を行わせていただきます。会議録には、皆様方のお名前及び御発言の要旨を掲載させていただきます、後日、市のホームページ等で公表する予定となっておりますので、御了承の程よろしく願いいたします。

また、会議は、本懇話会の設置要綱第5条に基づき、原則公開となっております。

現在のところ、傍聴希望者はありません。

なお、報道関係者の傍聴にあたっては、本懇話会の傍聴要領第3条により、座長の許可をいただくこととなっております。

続きまして、本懇話会の趣旨について御説明いたします。

区長の挨拶にもありましたとおり、本懇話会は、区で活動する各種団体の委員の皆様から、おおむね5年後を見据えた課題と期待など、区の将来像に向けた御意見を聴取するため、開催するものです。

本日の御意見は、今後の庁内における見直し等における参考とさせていただくものとなりますので、個々具体の御質問や御要望ではなく、この後、説明をさせていただく「区の将来像」に掲げる「まちづくりのポイント」について、こんなところが良くなった、この点はまだ不足しているので引き続き取組が必要ではないか等の御意見、御感想をお聞かせいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

4 座長及び職務代理の選出

○**司会** それでは次に移りまして、次第の「4 座長及び職務代理者の選出」でございます。

まず、座長の選出でございますが、本懇話会の設置要綱の第3条第2項で、座長は、委員の互選により定めることとなっております。

自薦、他薦を問いません。皆様から御発言をお願いいたします。

○**田口委員** さいたま市岩槻区自治会連合会三次委員を今まで行政の仕事や自治会の役員をやっていたいておりますので、区のことよく知っているため、推薦いたします。

○**司会** 他に御推薦などがございますか。

○**司会** 他に御発言等無いようでしたら、三次委員に座長をお願いするということで、皆様よろしいでしょうか。

○全委員 異議なし

○司会 それでは、三次委員に座長をお願いしたいと存じますが、三次委員いかがでしょうか。

○三次委員 お引き受けいたします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、座長の席へ御移動をお願いいたします。

それでは、以降の進行は、座長をお願いしたいと存じます。

○三次座長 改めまして、三次でございます。大変不慣れだと思っておりますが、それぞれのところのリーダーである皆様方の温かい御理解御協力をいただいて、ぜひスムーズにまた有意義な会議にさせていただければと思っておりますので、御協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

では、「職務代理者の選出」に移ります。座長が指定することになっておりますので、指名させていただきたいと思っております。商工業のリーダーとして、御活躍いただいております小宮委員さんにぜひお願いしたいと思うのですが皆さんよろしいですか。

○小宮委員 わかりました。お受けします。

○三次座長 それでは、小宮委員、席の移動をお願いいたします。

5 岩槻区の特性と将来像について

○三次座長 それでは、次第の「岩槻区の特性と将来像について」に移りたいと存じます。進め方などについて、事務局に考えがあれば、説明をお願いしたいと思います。

○事務局 進め方といたしましては、まず、資料に基づき、さいたま市総合振興計画の概要、また、区の出組及び市民からの意見、見直し内容案について、説明をさせていただき、その上で、お手元の「岩槻区検討懇話会資料2の3ページ」に記載されているまちづくりのポイントについて、皆様から御意見を順番に述べていただくという流れでいかがでしょうか。

また、御発言の順番につきましては、座長の指名により、職務代理者の小宮委員から席順に、各自2分程度で御発言をいただくということはいかがでしょうかと存じております。

○三次座長 ただいまの事務局からの説明のとおり進めていきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

○全委員 異議なし

○座長 それでは、資料に基づき、説明をお願いします。

○事務局 さいたま市総合振興計画基本計画と中間見直し等の資料説明

○三次座長 ありがとうございました。

それでは、改めて、「岩槻区検討懇話会資料2の3ページまちづくりのポイント」を御覧いただけますでしょうか。

まちづくりのポイント「1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり」には、地域コミュニティの醸成や市民協働などに関して、まちづくりのポイント「2 地域資源を生かした、魅力の向上とにぎわいを創出するまちづくり」には、自然環境の保全や地域文化の育成、観光や農業振興などに関して、まちづくりのポイント「3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」には、子育てや高齢者・障害者福祉、交通利便性の向上や防災などに関して、記載されております。

まちづくりのポイントの中で、各団体のお立場から、現在の状況等を踏まえ、課題や期待など忌たんのない意見や感想を伺いたいと思います。

なお、前の方が同じ御発言をされた場合や特段思いつかない場合には、「特になし」ということで結構です。後程思いつきましたら、挙手の上、御発言をお願いいたします。

また、事務局から説明がありましたように、本懇話会は区の将来像に向けた御意見を聴取する場ですので、個々の具体的な質問及び提案、要望等の発言はお控えください。

それでは、小宮委員、お願いいたします。

○小宮委員 まちづくりのポイントということで大きく3つの項目が出ていますが、それぞれで私の意見が得意分野とそうでない分野がありますがそれぞれ私の考えを述べさせていただきます。

1番について、日本全体の社会構造の大問題としては、少子高齢化という問題が出てきていますので、地域で課題解決の仕方が違うと思いますが、例えば住民の足。免許の返納者が増えているということも考えて、コミュニティバスの充実や場所によってはコンパクトシティ化を図っていく必要がある。

2番について、私は観光ボランティアの一部をやっておりますが岩槻のお祭りとかイベントというのは他の区の方さいたま市の浦和や旧浦和の大宮の方にイベントを年中やっているよねと話をよく聞きます。ただ城下町なのにまだ活かしきれてない観光資源としての岩槻を訴求できてないという話をよく聞きます。私達だけでは気づかない、地元ではわからない地域資源、観光資源というものをちゃんと掘り起こして磨いていく必要がある。

3番については、地下鉄7号線延伸は進めていかなくてはいけない課題。今回の資料にもありましたが、2035年ぐらいから社会自然減というものが入ってきて、少しずつ人口が減っていく。2050年頃には軽く100万人を下回っているような状況になる。東京も同じような傾向で、若干の時期のずれはあるかもしれませんが東京も人口が2040年ぐらいから減っていくという流れには変わらない。さいたま市の中では、地価が安いということもありますし、人を呼び込めるだけの土地もあります。市街化調整区域も多いので、そういうところで新しいまちづくりをしていくということが岩槻区での特性としてできる。

○雨宮委員 岩槻は特に人口が横ばいという話がありました。10区の中で岩槻区が、一番高齢化率が高い。高齢化が進むと少子化が一番ポイントになってくる。これからさいたま市岩槻区として、いろんな面に対して、特にこの地域資源や観光を含めて活性化して、啓蒙活動をもっと発信して、今、啓蒙活動も色々な発信の仕方がありますので、それを活かして、いいところを発信していけばいい。あともう一つ地下鉄の問題について、継続して、地下鉄7号線プラス、それに付随した岩槻の魅力あるまちづくりを進めていきたい。仕事上いろんな地区に回っていて、いろんな地区で、このシャッター通りが増えているのが現状。そういうシャッター通りをなくすためにはいろんな活動の仕方があると思いますが、そこら辺のいろんな活用の仕方ですべて活用してこれからもっと活動していけばいい。安く色々な資源があるので、区民みんな協力して、これからの活動に結びつけたい。

○荒木委員 交通の便について、私達もそのうちに運転免許返上しなければいけないとかそういう時が来る。私は、体調を崩して足を手術した時に、車に乗れなくなって、突然外へ出られない人になって、岩槻は交通の便が悪いと実感した。今まではどこにでも車があるので、車、自転車、駅から近いのでとてもいい街だと思っていたが、高齢者が免許返納などになると考えていかないといけない。私は加倉に住んでいますが、公共のものが少ない。バスも通らない。なので、岩槻全体を見直して、交通の便がいい社会になってほしい。それと私がやっております岩槻区民展ですが、第3回までは補助をいただいて順調に来ましたが、第4回の補助が打ち切られるということで大変だった。そういうものを継続して区民展としてずっと続けていかれるようなことができればいい。これにも文化、歴史、町並み、そういうことを書いて謳ってありますので、新しいものを始めるというよりも、今まで続けてきたものを掘り起こしていいものを皆さんに紹介してほしい。

○大澤委員 交通の利便性について、大宮にはRaiBoC Hall、浦和にはコミュニティセンターなど、駅前で100名以上入る会館があり、過去に岩槻でも我々の埼玉中央青年会議所の団体で一般向けの講演などをさせていただいたが、どうしても交通面が不便で集客が難しかった。岩槻に対しては交通の利便性、地下鉄について常に頭にございますので、そちらも力になればなと思っています。

○折原委員 生まれも育ちも岩槻で、人間の関係について、友達が浦和区にいて、浦和区のどこかの公民館で人形作りの講座があった。その後、講師のお店に人形作りに来ている。講座に出たのは1人だが、友達を誘ってきているということでした。こういうことがいくつもあれば、もう少し岩槻に来てくださる方が増える。そして、お昼は必ずどこかのお店で食事をする。もう一点、人形協同組合の取組の1つとして、最近開智学園とのやり取りがかなりある。開智学園に岩槻だけのお子様ではなく、市内または県外から来ている方がいるので、人形組合とのやり取りが、開智学園を通していろんなところに発信しているということであれば、開智学園に来ているお子様だけじゃなくて家族の方や知り合いの方にPRできると思います。その辺で、人形協同組合だけではなかなかきつところがあるかと思いますが区役所とともにやっていただければいい。

あと民生委員の立場としていろんな活動をしていて、サロン活動を行っていますが、公民館や自治会館等ではなく、もう少しこぢんまりとしたたまり場がないかという声がある。そして、高齢者の方とお話して、今一番切実な願いは、足がないこと。駅まで来る足がない。岩槻には何か所かにコミュニティバスはあるが、ない地域の方も多。その地域の足をどうにかできないか。病院に行くのにタクシーを毎回使うとお金もかかる。

○光山委員 農家で田舎の方に住んでいます。このまちづくりのポイントの中で2番の「屋敷や雑木林などの豊かな自然環境を守る」とありますが、お寺や市の施設、屋敷などは管理できているが、個人のは管理ができていない。市からは「道にはみ出ている木を切っしてほしい」とその程度。それでどのように環境を守るのか、水辺と緑のネットワーク推進していくのかわからない。具体的なものを教えてほしい。サイクリングロードが荒川沿いにたくさんあるが管理もできていない。生涯スポーツ都市宣言を30年ぐらい前に岩槻市がやって、その頃に整備されたと思うが、それを忘れられてしまっている。特にサイクリングロードとして役目を果たしていないところが多い。あとはまちづくりのポイントの2の(5)のブランド化の推進もこれはやってもらってありがたいとは思っておりますが、農業も高齢化で、これはしょうがないことだが、後継者不足で田んぼや畑等が放置されている。個人ではどうにもならないことが多い。

○事務局 担当者が不在であります。意見としてお伺いいたしまして必要に応じて後日回答できればと考えておりますので、連絡等調整させていただきたい。

○田口委員 「コミュニティの中の交流を深める必要があります」という部分について、地元の小中学校の協議委員会や自治会の社会福祉協議会への参加はありますが、その中で新和地区は数年単学級だったのが、初めて1年生が2クラスになった。美園地区が統合し、岩槻の人口増加には美園地区の子ども、家族を含めたことが影響している。美園地区の赤ちゃんたちを対象に子どもサロンを月に1回やっている。岩槻についてよく話していて、参加の方は都内から来る方が結構いる。子育てするにはいいところだと思っている。緑や綺麗な空気があるという印象をもっている。

それから自治体の加入率が減っている。今まで仕事を一生懸命やっていた特に男性は、仕事が終わると、これから自分のまだ長い人生をどのように生きていこうかという時に、新しく岩槻に越してきた方たちが周りの方を知らない、きっかけの自治会がないということで、どこへ行ったらいいのかとよくお話に出てくる。その時にただ住んでいる私達が、どういう形でお誘いしたらいいのか、どういうところの方に声をかけたらいいのか、そういう資料もない状態。75歳以上の方の名簿はいただくことができるが、それ以上のお仕事を辞めてまだまだ若い60代までの方たちを取り込んでいくために、地元の私達としては自治会で声をかけられる場ができたなら、声をかける手立てが楽になる。子どもたちが増えてくるのは本当にありがたいことだが、そのために地元ではいろんな催し物をし、具体的なチャレンジ、それから青少年活動も一緒に取り組んでいきたい。

○田中克幸委員 岩槻区では、地区社協は、自治連の8つのエリアで構成されております。その中で、それぞれの地区社協が地域福祉行動計画を5年計画で策定し実行されております。計画を作成する策定委員会も各地区に設置されておりますが、ほとんどの地域での話題、課題は地域内の交通手段がないこと。それをどうしたらいいのか、地区社協の中でもいろいろ検討されていることではございます。自治会単位で移送ボランティアを始めた地域もあるが、コロナ明けにボランティアさんが免許返納してしまうなど高齢化によってボランティアも再開できずにいるのが現状です。地域住民のお悩みとして、交通手段が大きな割合を占めています。

○田中泰治委員 旧岩槻市からさいたま市に変わって良かったというのが私の今の実感です。旧市役所の跡地に今人形博物館がありますが、ただの人形の展示施設から委員さんの発言で、日本で一つの人形博物館ができてそれに付帯するにぎわい交流館もあることから市外からもいろんな来客がある。ヨーロッパ野菜の研究会が南部地区の方にあり、その人たちも一生懸命やられていて、それを目当てに食事に見える方、人形をそれと一緒に見る方もいる。かなり流れが変わった。商店街も後継者の問題。後継者がいないところはシャッター通りになってきている。シャッター通りになったところも今経済局等の御支援で新しい職種の人に入っていただくなどやっています。今月の終わりは加盟店の締め切りですが、デジタル地域通貨が今度さいたま市が始まります。それによって商店街も潤いが出てくると商店

連合会も頑張っています。

交通に関しては、コミュニティバスも出ているが、見ていて乗っている人もいないのが現状。その辺の費用対効果については難しいと思いますが、取り上げます。岩槻市とさいたま市では金額が違ってくると思うので、その辺は変わって良かった。

○伴戸委員 まちづくりポイントの2番について、岩槻の観光資源を守ることがおろそかになっている。黒門は、最近周りの手すりは変わりましたが、黒門自体はもう何年かで壊れてしまうぐらい。時の鐘や城址公園の菖蒲池も同様に、保存の作業はされていません。本当に観光資源としているのかと思われる状況であります。

○深井委員 家庭よりも仕事という古い人間だったので、なかなか外へ出られない。趣味がたくさんあるわけではないので、何をやるかと思って探したら、シニアユニバーシティという60歳以上の高齢者の集まりがあり、そこに行けば仲間ができるだろうとそういうきっかけを作ろうと入りました。今もう10年やっていますが、市の情報や近所の人に誘われたなど、そういうきっかけがないと男の人は出ない。そういう意味で入れて良かったし、いろんな人とお付き合いができるのではないかと幅を広げてやっております。今の社会情勢で65歳から、あるいは70歳まで働けますが、このように外に出ることは健康長寿には必要。

岩槻については、テレビ東京で岩槻を取り上げられていたが、地元の人間からすると少し内容が薄かった。友達を呼んでも、連れていける場所がない。ワッツの店舗について、2階が空いていることもあるので充実してほしい。テナントの家賃問題もあるが、集客できる店舗がないと人が来ない。そして、観光資源に関して放置されている。時の鐘も以前はもう少し綺麗だった。今は住宅が建って勝手なことはできないかもしれないが、観光資源を整備して、さらにPRできる。さらなる充実を期待している。

○牧内委員 少子化という割には、子どもを増やす対策があまりなく、川通地区ではだいぶ前から単学級です。新しい人が入ってくる環境がない。新しい家が建つという感じではないので、そういう地区はもう減る一方。PTAが何か努力をしても今住んでいる方にはアピールできても、外に向けてはなかなかできない。川通地区に限らず減っている学校さんはたくさんあるので、会長会でもその辺りが、学校でも悩ましいところで、私達の力ではどうにもできなくて、考えていただきたい。

○丸川委員 今学校、PTAが弱体化していて、バザーができなくて、今度いくつかの学校で城南フェスタという形で地域の人たちと一緒にバザーをやることになりつつあります。今まではPTAがバザーに出して収益を学校にという形をとっていたが、PTA自体も働いているお母さんたちも多いことからもう力が出せない。なので、地域の人を手伝ってくださいという形になりつつあります。城南は今年度、食フェスタをやりますが、その実行委

員会は自治会長、民生委員、おやじの会とかPTAだけではなくて、いろんな人たちが入ってフェスタをやりたいと今動いている。他の学校に関しても、バザーがなくなりつつあり、そういう形でフェスタに移行しています。子どもを増やすというところで、一番は魅力のある学校がないと住んでいる人たちはそこに行くしかないが他方からは全然人が来ない。学校に魅力があると働いているお母さんたちにも良い。岩槻は、都内にも働きに行ける、在宅も今増えているので週に何回か都内で行けばいいと言う人たち、今は田舎に移住という形をとられる方が増えているのでそういう方たちが岩槻には自然があるので、魅力的な学校があれば移住先の一つとして岩槻を選んでいただける。今観光資源が点在しているため、それらを繋ぐことと一緒に、協力して学校を活性化していけたらいい。

もう一つ要望としては、岩槻公園にある旧テニスコートの空き地や市民会館が老朽化している、そういう場所に駐車場もあるので子どもが遊べる児童センターや年配の方が来られるところなど複合施設ができてほしい。地域の近くに児童センターはありますが、車で行けない。そうすると雨の日などに遊ばせたいのに車で行けないとどうやっていくとになってしまう。駐車場があるところに保健センターなど悩んでいるお母さんたちが相談できる施設を作っていただきたい。いろんな方の触れ合いが一番大事だと思うので2点意見を述べさせていただきます。

○渡部委員 元々岩槻の出身ではなく他から来ました。今自営業をやっていて、始めた時、岩槻は昔からの田舎町っていうイメージがあった。それで自分が入ってきたら、どういう風に思われるのかと思っていましたが、意外と皆さん温かく迎え入れていただき、私はPTAの方、子どもは岩槻小学校と岩槻中学校に行っていて私も子どもたちに何ができると考え、PTA活動に参加させていただいて、岩槻の子どもたちといろいろと交流をさせていただきました。それで思ったのは、子どもを通学させるのに道がやはり狭い、そして歩道がない。昔からの作りなので、なかなか歩道を後から付けることはできないのかと思いましたが、子どもが歩く時には危ない。

あと、岩槻の魅力は、自然が多いこと。農家さんもたくさんあった、今ヨーロッパ野菜が有名になっていますが、そういった農家さんたちがいろいろ頑張って岩槻を盛り上げている姿を見て、これはいいと思います。しかし、木が多いけど、その木の整備がなかなかされない。整備していくと、もう少し変わっていく。岩槻の仲間入りさせていただきまして、これから岩槻をどんどん良くしていきたいなと思いますので、何か私も情報があれば皆さんと共有していきたいです。

○三次座長 ありがとうございます。それぞれの岩槻への熱い思いがひしひしと感じられました。

それでは、これまでの御発言以外に何かあれば、挙手の上、お願いいたします。

それでは私の方から、今資料2の方でアンダーラインしている「地下鉄7号線延伸による

まちづくりの推進や中間駅などの新駅設置に伴う駅周辺のまちづくりの推進について」は、文言を追加したとていうことで理解してよろしいですか。こういう見直しに当たって一応基本計画にうたわれておりますこのアンダーラインについて、この中間見直しに当たって追加したということで御理解いただければなと思っております。

それぞれ各団体さんのそれぞれのお立場で大変貴重な私も大変ありがたくお聞きしたわけでございます。

ぜひこれらを踏まえて、事務局の方で具体的に文言を直すだけではなく、それぞれの課題要望について十分発言していただきましたので、皆さんの意見を十分取り入れてこれからの取組にプラスしていただきたい。

最後に、区の特性と将来像について見直し案含め全般的に、何か御感想がある方がいらっしやれば、挙手の上、御発言をお願いいたします。

それでは、時間も限られておりますので、ここで終了といたします。

皆様、御協力ありがとうございました。進行を事務局へお返しします。

6 閉会

○司会 本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

今後の流れといたしましては、本日の御感想を参考に、岩槻区の特性と将来像の中間見直し案を確定させたのち、地方自治法に基づく附属機関である「総合振興計画審議会」へ、岩槻区の「区の特性と将来像」を含む総合振興計画基本計画の見直し案を諮問し、今年度中に答申をいただく予定としております。

そして、令和7年度に、市議会への報告やパブリックコメントを経て、基本計画改定の議案を市議会へ提出する予定です。

このたびの区の特性と将来像につきましては、区民主体の検討により策定させていただいたものですので、その実現に向けては、区と区民との協働により、必要な事業を推進してまいりたいと考えております。

また、岩槻区役所といたしましては、本庁各所管と引き続き、連携しながら、将来像の実現に向けた取組を進めてまいりますので、今後も、お力添えをいただきますよう、御協力の程よろしくをお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、懇話会を終了いたします。誠にありがとうございました。

以上